

# 稲作緊急情報（第2号）

平成18年8月22日  
JAきたそらち・JA北いぶき  
空知農業改良普及センター北空知支所

## 高温が続いています。 土壌水分を確保し「乳白・腹白粒の発生を防止」する!!

現在、稲の生育は登熟中期（乳熟期から糊熟期）となっています。また、出穂期以降日中・夜間ともに気温が高い状態が続いています。

水稻は、登熟の初中期に最高気温・夜温ともに高い状態が続くと籾への澱粉の蓄積が悪くなり、乳白粒や腹白粒が多発します。特に、土壌水分の不足は発生を助長します。

気象予報では、9月中旬まで平年並みからやや高い気温となる予報なので、適切な水管理で土壌水分を確保し、乳白・腹白粒の発生を防止してください。

### 1、田面に大きな亀裂が生じないように「走り水」を実施する。

田面に大きな亀裂が生じると根が切れて登熟が阻害され、乳白・腹白粒が多発します。適時「走り水」を実施して土壌水分を確保して下さい。土壌水分の目安は、田面に1cm以上の亀裂が入らないことと、靴底の跡が1cm程つく程度です。

### 2、用水路の断水前に、一度5～10cm程度湛水する。

地域の用水路断水以降も好天が続く予報があった場合、断水前に5～10cm程度湛水して土壌水分を確保してください。

### 3、日中の気温、夜温ともに高い予報が続く場合は掛け流しも有効。

日中の最高気温29以上、夜温23以上の高温が5日以上続くと予報された場合は、灌漑水の掛け流しにより水田の温度を下げることも、乳白・腹白粒の発生防止に有効です。